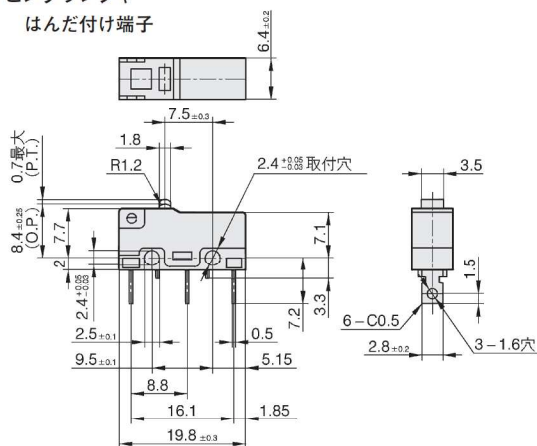


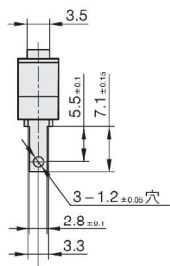
SSMシリーズのCADデータは、形番により異なります。

ピンランジャ

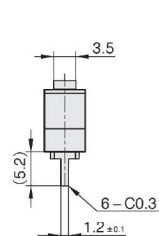
はんだ付け端子



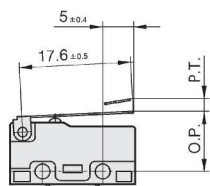
#110タブ端子



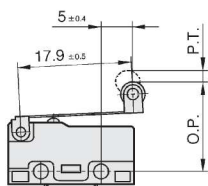
プリント基板端子



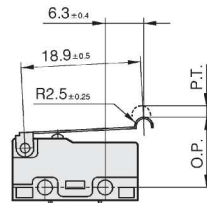
ヒンジレバー



ヒンジローラレバー



ヒンジアルレバー



注. レバー……[幅:4.1±0.25]、[厚:0.3]、[材質:ステンレス鋼]
ローラ……[直径:4.8±0.25]、[幅:3.3±0.25]、[材質:プラスチック]

SSMシリーズのご使用に際して

1 取付け

- スイッチ本体の固定は、平滑面にM2.3の小ねじを用いて、0.25~0.3N・m以下のトルクで締付けてください。また、ねじのゆるみ防止のため、ばね座金の併用や接着剤によるロックをお勧めします。特に高温下でスイッチをご使用になる場合、取付けねじがゆるまないことを事前に確認してください。
- 取付け状態において、各端子とアース間などの絶縁距離が十分確保されているか、お確かめください。
- スイッチの自由位置では、動作機構とプランジャまたはレバーの間にすき間をとってください。プランジャは垂直に押されるようにしてください。
- 動作後の動きの設定はO.T.の規格値(最小)の70%以上とってください。
- タブ端子の場合、結線作業は#110タブ専用リセプタクルを用い、端子と平行に挿入してください。
- レバータイプの場合、動作と逆方向および横方向からの無理な力は加えないでください。

2 はんだ付け

- 手はんだの場合:60Wはんだゴテ(コテ先温度最大350°C)5秒以内に作業を終了し、端子部に力が加わらないようにしてください。
- 自動はんだ槽の場合:250°Cはんだ液中では6秒以内、350°Cはんだ液中では3秒以内に作業を終了してください。
- はんだ付け後1分間は、端子部を動かさないようにご注意ください。また、端子にリード線の引張荷重が加わらないようにご配慮ください。

3 環境

- 硫化ガス、アンモニア、塩素ガス、シリコンガスや高温多湿、塵あいの多い雰囲気中でのご使用、保管は避けてください。
- 接点接触不良や腐食による破損・劣化などの機能傷害を生じることがあります。

4 使用上の注意

- 誘導負荷(リレー、ソレノイド、ブザー等)の開閉にご使用の場合、アークが原因で起こる接点障害を防止するため、適当な火花消去回路の挿入をお勧めします。
- スイッチの開閉サイクルと電源周波数が同期すると信頼性を損なう場合がありますのでご注意ください。

5 実負荷確認のお願い

- 実際に使用するに当たっての信頼性を高めるため、実使用状態で品質確認をお願い致します。

6 スwitchの選択

- 動作特性の規格値の±20%まで変化しても支障がないように考慮し、スイッチの選択をしてください。

テクニカルガイドF-031~F-033ページの「ご使用上の注意」、「取扱い上の注意」、本製品の取扱説明書、製品仕様書をよくお読みになり、ご使用ください。